



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 121 号

2014/ 1

新年号

躍進～晴れの国おかやま、ハレの街 岡山に向かって～

■明けましておめでとうございます。皆様、どのような希望や夢をもって新年をお迎えでしょうか。2014 年は岡山の街づくりにとって大きな躍進が期待できる 1 年になりそうです。

■西日本最大級のショッピングセンター「イオンモール岡山」の JR 岡山駅南への開業。そのイオンモールと表町をつなぐ県庁通りでの社会実験の実施と路面電車の駅前広場乗り入れの検討。柳川交差点、表町南部地区、岡山駅周辺での再開発事業の推進。

そして 11 月に開催される「国連 ESD (持続可能な開発のための教育) の 10 年」最終年大会の開催と街の活性化への材料は揃い、あとはこれをいかにうまく調理し、魅力的な御馳走に仕上げていくかという大切な 1 年ともいえるでしょう。

■ロンドンから鉄道で北へ向かい約 2 時間、イギリスの伝説上の英雄、ロビンフッド (日本でいえば桃太郎的な存在) で有名な「ノッティンガム」という街があります。一般的に知名度の低い街かもしれませんが、今、中心市街地の活性化で世界的に注目されているのです。この街も郊外への店舗出店等により中心部の衰退が深刻化していました。しかし街の顔である中心部の街づくりをひとつのテーマパークの創出として考え、タウン・マネジメントオーガニゼーション (TMO) を実践する事により活力ある魅力的な街へと躍進させたのです。ではこの TMO を誰が行っているのか？

それはあなたです。住民と行政、企業などが参加し、それぞれの得意分野を活かしながら、街づくりの企画、運営、管理を行っているのです。

■活気ある魅力的な街にするために、大きく 3 つのポイントが挙げられます。

①公共交通機関の整備と中心市街地へのアクセスポイントの利便向上

②人気商業施設の誘致と既存商業施設との回遊性
③文化的観光施設との融合による魅力的な街づくり

まさに今、岡山の街は活性化へ躍進のチャンス到来だと思いませんか？

- ①岡山駅前広場への路面電車乗り入れと吉備線 LRT 化とバス専用レーンの整備
- ②約 350 店の専門店を導入するイオンモールと歴史ある中心的繁華街表町。それを結ぶ県庁通り。
- ③ミシュラン 3 ツ星の後楽園をと旭川河畔のカルチャーゾーンを中心とした観光施設

この 3 つのポイント活用により、買物目的の地元住民と観光目的の国内外の訪問者が街に入り混じり起こりうる化学反応的な活気は相当なものと思われる。

■そんな夢と希望あふれる岡山の街づくりに尽力されました方、福武一 (かずじ) 氏をご紹介します。戦後まもない一面焼け野原の中、映画を通じ市民と街を元気に、松竹座を皮切りに円形型劇場セントラル、歌舞伎座、グランド劇場と次々にオープンし、活気溢れる街づくりに取り組まれました。娯楽の嗜好変化により今では想像もつきませんが、当時は彼の功績により駅前、中山下、千日前と岡山中心市街地の賑わいは相当なものでした。我々 RACDA 一同も公共交通機関を通じ、利便性の向上、心ときめくイベントの実施、街路空間の演出と環境美化の推進を実践し、街づくりに貢献していきたく思います。今年も皆様のご協力、ご指導の程よろしくお願い致します。

■最後に「躍進」。これは昭和 47 年山陽新幹線岡山開業時に東口 1F コンコースに設けられた岡本太郎氏作の陶壁画です。きっと世界的芸術家の目に 40 年、50 年先の岡山の街の姿が、見えていたのかも知れませんね。

安藤 亮

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15 (禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索



RACDA

詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで

コンパクトシティとLRT、全国の実状

■今、なぜコンパクトシティか

日本社会はいま本格的に高齢化社会を迎え、一方で少子化が進んで人口減少社会に突入した。この道は世界の先進国がかつてたどった道でもあるが、高齢化に伴う医療費・年金など社会保障費の増大をどう賄うかが課題となり、各国とも消費税増税で広く負担を求める方向に向かった。

一方で人口減少は、従来のような都市におけるインフラ整備を無秩序に行うことを許さなくなっている。折角整備した都市の道路・下水道なども都心空洞化で利用されない一方、改修費用は増大している。都市はモータリゼーションによって無秩序な拡散化したが、もはや道路・下水道を郊外に整備する財源はない。また高齢化で自動車を運転できない人が増加し、都市近郊でも買い物難民、介護難民が急速に増大している。

こうした中で、都市をコンパクトに整備し直し、都心の道路や下水道、病院や学校、ショッピングゾーンなどを効率的に再整備し、そこになるべく多くの人に住んでもらった方が、行政コストも安くつくということで、「コンパクトシティ」が中心市街地活性化とセットで語られるようになった。

■コンパクトシティとLRTの親和性

重要なのは、コンパクトシティの交通問題を解決するために、公共交通の再整備や道路空間の再配分が必要になってくるという事だ。路面電車の進歩した姿としてのLRT（ライトレールトランジット）は、都市の中心軸としての機能を発揮することが期待されている。

LRT＝路面電車＋都市近郊鉄道＋都市計画

富山市は廃止される可能性のあったJR富山港線をLRTとしてリニューアルし、都心の路面電車を環状化、さらに北陸新幹線開業時には富山ライトレールと路面電車を直通させ、公共交通中心の街づくりを全市域で展開、コンパクトシティのモデルとして全国から視察者が殺到している。青森市もコンパクトシティを目指しているが、バスだけに頼っており、やや苦戦している。軌道系の存在感は大きい。

欧米では既に140都市以上でLRTが導入され、都市中心部では郊外から乗入れたLRTがトランジットモールという歩行者専用空間をゆっくり走って、いわば動く歩道がわりになっている。そのLRTには当然MOMOのようなバリアフリーの車両が使われるが、郊外では時速70kmで疾走する。吉備線では駅を倍にしても到着時分は変わらない。

岡山市ではようやく路面電車の駅前乗入れや吉備線LRT化が本格的検討に入るが、津山線、宇野線、赤穂線などもLRTとしての活用が可能で、格段に便利なシステムを作ることができる。

■各地のLRT検討状況

日本各地では既存の路面電車を改良する形でのLRT化が、ようやく本格化してきた。

★**札幌市交通局** あと380mで都心環状化できる札幌市電では、平成24年度に超低床車を1輛導入、平成26年度のループ化完成までにさらに2輛を導入。ループ化費用は19億円。今後平成36年度までに29輛中16輛の低床電車導入に44億円、施設改修や利便性向上などに31億円の合計94億円を投資する予定。札幌駅延伸などについても引き続き検討する。

★**大阪市・堺市の阪堺電車** 平成22年に10年間で低床電車の導入や路盤整備など総額50億円の支援を行うと決定した。低床電車は平成25年度に1輛導入。阪堺全線を290円から一律200円にする企画は成功、乗客は7%増加を達成。

大阪市部分についても府市統合本部が阪堺線の阿倍野から天王寺、なんばまでの「緑陰のみちを通るLRT」新規建設構想を発表。「グランドデザイン・大阪」構想の中では御堂筋の緑化をうたい、そのシンボルとしてLRT緑化軌道建設も上げている。

★**福井市の福井鉄道・えちぜん鉄道直通** 福井市中心部の田原町駅では、福井鉄道とえちぜん鉄道が数mの距離で接する形になっており、以前から直通運転してLRT化することが議論されてきたが、ついに低床車両を2編成導入、初期投資19億2000万円で直通LRTの工事にいった。

★**鹿児島市交通局** 市長は鹿児島市電の鹿児島本港区への観光路線新設について、「九州新幹線全線開業効果を持続させるための新たな魅力創出」と位置付け、2013年度にルートを決めると表明。ウォーターフロント地区と、鹿児島中央駅、天文館地区との一体化を促し、回遊性向上が見込まれる。事業費は27億～42億円の見込み。鹿児島市の街の「顔」になった軌道緑化は道路との併用区間全線8.9kmの緑化が完成。軌道敷緑化は目を楽しませるだけでなく、ヒートアイランド現象の緩和や沿線騒音の低減、電車の乗り心地向上にも効果をあげている。総事業費は11.5億円

★**宇都宮市新設LRT計画** 宇都宮駅から東へ既存道路と橋の架橋など全長12km 20駅の新設を計画。2019年完成を目標に市長自らが住民説明会を繰り返している。総事業費260億円。駅西側にも延伸計画。

★**新潟市BRT導入計画** 都心に大型の接続バスを走らせ、専用バスレーンを設けるBRTの実験に着手。将来はその路線のLRT化を視野に入れている。

■この他、神戸市は来年度市全域についてLRTの導入可能性を検討する予算を計上予定。また横浜市もウォーターフロント部でのトラム導入を検討表明。いずれも都心回遊性の向上にLRTが有効と見て、市長自らが先頭に立って推進している。こうしてみると、政令市、中核市の多くで都心の回遊性確保と郊外からのアクセス性を考えてLRT導入が本格化している。既存の路面電車とLRT化可能な岡山市の場合、決断さえあればどの都市よりもLRTによるコンパクトシティの実現に近いといえよう。

会長・岡将男